

かおしず道柔

平成14年2月 静岡県柔道協会発行

事務局 〒421-2306 静岡市平野1-1 永田重郎
TEL (054) 293-2035 FAX (054) 293-2335

巻頭言 — みやぎ国体から学ぶこと —

総合優勝めざして最善の強化を

静岡県柔道協会副会長 中西 儀久

昨年十月には、五回目の総監督としてみやぎ国体に臨ませていただきました。

その中で、改めて強く感じたことは、国体の試合というものは他の大会にはない、一種独特な雰囲気があるなということ。あの篠原や村元といった名選手が目の前でまさかの敗北を喫してしまうのです。どんな強敵でも、がむしゃらに挑めば倒せないということはない。そうした勝負への執念が奇跡を呼ぶのでしょうか。本県の選手たちもよくがんばってくれたとは思いますが、なお一層の闘志溢れる試合ぶりを期待してやみません。

平成13年度は、二年連続全種目出場を当面の目標に、強化合宿に入り、指導陣、選手一丸となつての努力が実を結び、東海ブロック予選では、少年男女、

進に加わることができましたが、本大会の壁は厚く、どの種目も強敵の前に屈し、緒戦突破を果たすことができませんでした。

まず、少年男女では、重量級の所で勝てる選手を育てることがなよりの課題だと思われま

み、今秋の高知国体を自分の眼で体験、自覚を持って精進できるようにさせたいものです。

成年については、実力のある選手を起用、より強力なチーム編成ができるよう、強化委員会あげて、選手獲得に努めていくつもりです。不況の嵐の中、県内就職戦線など厳しいものがありますが、高柳会長をはじめわが協会役員すべての悲願である「総合優勝」に向けて、最善を尽くしたいと思います。



選手たちを激励する中西総監督

本来、競技力向上の要は、地元静岡で生まれ、クラブや道場で柔道を始めたチビッコたちが、中学、高校と一貫した指導体制のもとで鍛えられ、才能を開花していくところにあるはず。現実には、少子化や廃部などさまざまな困難を抱えているでしょうが、道場の先生方、中学、高校の指導者のみなさんが、手を取り合って選手育成のため情熱を注いでくださることを願ってやみません。

青年女子とも二位に食い込み、すべての出場権を勝ち取ることができました。お陰で、気仙沼の柔道会場には意気揚々入場行

す。来年の静岡国体では、14年度の高校一、二年生で闘うことになるのですから、各階級の候補手を少しでも早くしぼり込

最後に、協会役員はもとより県内の柔道愛好者のみなさんの絶大なる支援を心よりお願い申し上げます。

〈みやぎ国体レポート〉

緒戦突破ならず

= 2年連続全種目出場権獲得するも =

第56回国民体育大会柔道競技大会は、平成13年10月14日より4日間、宮城県気仙沼市総合体育館で行われた。

本県勢(別表参照)は、さかのぼること、8月19日に静岡市北部体育館で行われた第22回東海ブロック大会において、予想を上回る健闘を示し、成年女子、少年男子、少年女子とも二位を死守、成年男子を加えた全種目の出場権を獲得、前回成年三位入賞に劣らぬ結果を出さんものと勇躍会場に乗り込んだ。

しかしながら、いずれも緒戦に強豪チームと遭遇、その厚い壁を突破することができず、無念の涙を飲み、次回への大きな課題を残すこととなった。戦績は次のとおり。

少年男子(10月14日)一回戦

奈良 3-1 静岡

- (先) 松本忠明 ○ 背負投 △ 小松裕樹
- (次) 長澤克彦 × 植田佳徳
- (中) 吉田彰寿 △ 懸垂上宙 ○ 青木真也
- (副) 穴井隆将 ○ 内股 △ 増田圭省
- (大) 甲谷勢一朗 ○ 大外返 △ 三室健史

少年女子(10月15日)一回戦

静岡 0-2 千葉

- (先) 望月希 △ 体落し ○ 藤井敬子
- (中) バルボザ・ダニエル・ユリ × 占谷笑香
- (大) 中嶋沙子 △ 背負投 ○ 大嶋窓夏

成年男子(10月17日)二回戦

静岡 1-3 宮崎

- (先) 渡部成也 ○ 単高嵩 △ 内柴幸介
- (次) 井川清隆 △ 小外刈 ○ 宝 実
- (中) 大原尚喜 × 齊藤制剛
- (副) 大村昌弘 △ 一本背負 ○ 高橋宏明



成年チームの入場

渡部 井川 大原 大村昌 大村恭

(大) 大村恭一 △ 警告 ○ 下出善紀

成年女子(10月16日)一回戦

大阪 1-0 静岡

- (先) 五味山みどり × 瀬のぞみ
- (中) 赤岡志保 × 岩藤理忠
- (大) 山田千恵美 ○ 横四方岡 △ 漆垣加奈子



第56回みやぎ国体 静岡県柔道競技選手団

総監督 中西儀久(会社役員)
 副々 野田昭一(静岡高教員)
 総務 富田偉沙生(清水東高々)
 トレーナー 伊藤武治(浜北西高々) 梶原和洋(御殿場高々)

〈成年男子〉
 監督 宇佐美博之(県警本部)
 コーチ 米山安基夫(県警察学校)
 〃 渡辺達也(県警機動隊)
 〃 渡部成也(県警察学校)
 次鋒 井川清隆(総合警備保障)

中堅 大原尚喜(東洋水産)
 副将 大村昌弘(平成管財)
 大将 大村恭一(県警機動隊)

〈成年女子〉
 監督 根本谷信一(市立沼津高教員)
 コーチ 溝口紀子(県立短大々)
 〃 西川孝治(静岡西高教員)

国体出場をバネに日本一をめざして

静岡学園高校 3年 青木 真也

10月14日、宮城県気仙沼市で国民体育大会が開催され、私は、少年男子チームの中堅として出場しました。

今回のチームは、能力の高い選手が集まっているので上位進出を目指し、監督・選手が一丸となって臨みました。

組み合わせを見た時、選手全員が闘志を見せました。一回戦の対戦相手は、名門天理高校を中心とする奈良県チームということで、選手一人一人が自分の仕事をしっかりとするということを確認し試合に臨みました。試合では皆が自分の出せる力を出し切りましたが、先鋒は技有を取られ優勢負け、次鋒は互いに牽制し合い引き分け、中堅の私は隅返して有効を取り、その後には跳び十字固めで一本勝ちをし、内容でリードしましたが後二人の健闘むなしく、3対1で負けてしまいました。

この国体を最後に高校での試合は終りとなりましたが、ここまで私を導いてくれた、静岡学園高校の野田・渡部両先生、静岡県チームのスタッフの方々のお陰と感謝しています。今回の試合は、決して自分の満足に行く結果ではありませんでしたが、これをバネにし、常にワンランク高い目標をもって、大学進学後も日本一を目指して頑張りたいと思います。



高柳会長を中央に勢ぞろいした静岡県選手団

先鋒 一瀬のぞみ (金沢学院大)

中堅 岩藤理恵 (住友海上保険)

大将 漆畑加奈子 (総合警備保障)

〈少年男子〉

監督 間宮幸男(興誠高教員)

コーチ 宮本昌人(常葉橘高)

先鋒 小松裕樹(富士宮北高)

次鋒 植田佳徳(静岡学園高)

中堅 青木真也()

副将 増田圭省(沼津学園高)

大将 三室健史(浜松商高)

〈少年女子〉

監督 勝呂良三(庵原高教員)

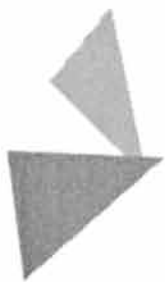
コーチ 須田直之(静岡商高)

先鋒 加藤伸司(常葉高)

中堅 望月 希(市立沼津高)

大将 バルボザ・ユリ (天竜林業高)

大将 中嶋三沙子 (市立沼津高)



柔道人口拡大に向けて

柔道普及実態調査中間報告Ⅱ

広報普及委員会

平成十三年度より、広報委員会は「広報普及委員会」に改編、従来の広報活動のみならず、普及策をも視野に入れた活動をスタートするよう仰せつかった。

これは、少子化や武道離れなどによる深刻な柔道人口の減少傾向になんとしても歯止めを掛け、底辺拡大への突破口を見つけないければならないという協会首脳陣の危機感を反映したものである。

そこで、平成十三年七月二十八日(土)、静岡市もくせい会館で、第一回委員会を開き、委員会内規を審議するとともに、初仕事として、協会発足初の実態調査を試みることを全員一致で決議した。

底辺拡大への糸口を見つかる上でも、現状の正確な把握はどうしても必要であり、具体的な普及策を講じるには、まず実態

調査をしてみなければならぬというわけである。

何分不慣れなことではあり、アンケート項目を決めること自体難しいことであり、四苦八苦の末、実際に回答をお願いすることになったのは、九月の末。

各所属の皆様のご理解と御協力により、着々と回答が寄せられたことはスタッフとしてうれしかざりだったが、より正確なデータを求めるためには、より高い回答率が求められ、繰り返しお願いの文書や電話を重ね、おくれをとってしまった中部地区などは、ほぼ回収できたのは、年を越してからになってしまった。

それでも、それぞれの現場で、柔道振興のため日夜情熱を傾けていらっしゃる方々の報告や意見、要望は、かけがえのないものであり、スタッフも身のひきしまる思いであった。

今回は、バラつきもあり、東、中、西各地区毎の集計に終わり、全県一本化した統計資料までは作成できなかったが、中部地区資料を中心にその概要を報告したい。

調査協力団体Ⅱ100(ほぼ100%)

(内訳)

中学Ⅱ36 高校Ⅱ31
大学・道場等Ⅱ33

Ⅰ柔道人口

	男	女	計
小学生以下	426	158	584
中学生	485	112	597
高校生	241	83	324
大学・一般	443	71	514
計	1595	424	2019

(警察官・道場等の中・高生は除く)

①5年前平成8年度との比較

学年	増減
小学生以下	増6
中学生	同1
高校生	減11
大学一般	減16
増3	同10
同8	減10
同9	減8

減少の主な原因

- イ. 少子化・生徒数減
- ロ. 武道離れ・厳しいのはいや
- ハ. サッカーなど球技に流れる
- ニ. 指導者不足
- ホ. 廃部(中学)・必修クラブ廃止
- ヘ. 宣伝不足
- ト. 不景気、多忙

増加の主な原因

- イ. 礼儀・健康などの親の願い
- ロ. かつての柔道少年が親として戻ってきた

考察

ハ. 指導者に対する信頼

- ① 中・高の女子が激減
- ② 中・高の部活の廃部傾向
- ③ 地区による差大きい(清水は、中学は2校のみ)
- ④ 増加の道場から学べ
- ⑤ 廃部阻止の働きかけ必要

① かなり整備されてきている。
② 地域差激しい、改善の働きかけを。

Ⅲ 指導者

- ① 指導者として認めている者
- 0人：高Ⅱ2校あり
- 1人：中17 高16 他3
- 2人：中11 高8 他2
- 3人：中4 高2 他2
- 4人：中1 高0 他1
- 10人以上 他Ⅱ8所属あり

Ⅱ柔道場(練習施設)

- ① 種類
- ・ 中学・高校Ⅱ学校道場定着
- ・ その他道場等
- 公共施設 12 個人道場 5
- 学校借用 6 その他 1

②スペース(畳数)

- 150畳以上 中3 高6 他3
- 100~149 中8 高10 他7
- 50~99 中11 高4 他10
- 50以下 中5 高2 他2

③現状に

- イ. 満足 中14 高17 他12
- ロ. 狭い 中10 高1 他7
- ハ. 空調を 中6 高2 他4
- ニ. 日よけ風通 中5 高8 他2
- ホ. 畳古い 中16 高5 他5
- ヘ. 制約有り 中0 高1 他7
- ト. 交通不便 中0 高1 他1
- チ. 駐車場× 中1 高0 他5

考察

- ④ 指導者の現状
- 満足 中15 高14 他3
- 初・二 中17 高10 他43
- 参・四 中9 高7 他43
- 五段以上 中15 高15 他81

③指導者の段位

- 無段 中3 高4 他0
- 初・二 中17 高10 他43
- 参・四 中9 高7 他43
- 五段以上 中15 高15 他81

- ④指導者の現状
- 満足 中15 高14 他3

不足 中9 高6 他4

指導力不足 中7 高8 他11

もつと謝金を 中9 高2 他13

①中・高は1人で奮闘が多い。

部外指導者を要請したい。

②50才以上の方ががんばっている。

③指導者講習会が望まれている。

④ボランティアに甘んじないで、謝金等報酬が望まれる。

III地域の組織

①清水・静岡・焼津・藤枝・鳥田5市に各連盟(協会)あり

その他、大井川町・榛南・中西部地区・中部少年連盟

しかし、規約に則り、地域を統括し、一定の財源を保ち、具体的な事業を行っている所は少ない。

⑤柔道祭

現状OK 中25 高22 他15

期日変更 中1 高1 他1

会場変更 中1 高1 他1

新種目を 中1 高3 他2

種目廃止を 中0 高3 他1

⑥県民スポーツ祭

現状OK 中26 高20 他21

期日変更 中0 高0 他0

会場変更 中1 高0 他0

V協会の諸事業についての意見・要望

①昇段審査

現状OK 中28 高19 他20

多すぎる 中1 高2 他1

会場変更 中2 高5 他1

②会場変更の要望は、遠距離に

よる負担増からきている切実なものを受けとめたい。

③形講習会のあり方については、さらには検討の余地がある。

④一級審査については、態度保留を含めて、経費負担増への心配があるとみられる。実施に踏み切るには慎重に事にあたるべきだ。

⑤柔道祭の個人中学女子種目のみについては再検討の余地あるかと思われる。

IV全体を通して(傾聴に値するものを一部)

I. 女子二段を取り易くする。

II. 高校三年生に二段受験を薦める。

III. 一年を通して試合数が多すぎる。オフ・シーズンがあつてよい。

IV. 学校の部活動が困難になつてきている。地域道場・教室が主体となる時代に備えて、指導者の育成が求められている。

V. 役員にもつとものと若手を登用すべき。又、段の低いものでもやる気のある人材を広く活用するシステムを。

VI. 指導者不足に尽きる。勝負中心でなく、人間づくりの見える見識を備えた指導者

の育成・そのための講習会を大いに開いていくべきだ。

ホ. 普及のためのPRになる柔道教室や、子どもたちをひきつけるイベントを企画してほしい。

ヘ. 少数精鋭の強化ばかりでなく、多くの青少年が楽しく、喜んで柔道に参加できる道を真剣に考える時代が来ているのではないか。

ト. 申込み手続きの簡素化をぜひ。各大会要項・申込書など全てを一冊子にまとめることも考えてほしい。

飯田稔先生

第42回 (財)県体協体育章受章

去る平成13年5月17日、飯田稔県協副会長・西部地区幹事長が栄えある「県体育協会体育章」を受章された。飯田先生は昭和6年生まれ、静岡大教育学部卒業後、新居中、浜松中部中、浜松工業高・浜松西高にて体育科教師として教鞭をとられる一方、顧問となり柔道指導に情熱を傾けられた。特に浜松西高では、溝口紀子選手を育成、二度にわたるオリンピック出場、パルセロナでは銀メダルに輝くなど偉大な実績を残している。6月23日には、受章を祝う会が浜松名鉄ホテルにて開かれ、高柳会長をはじめ協会関係者や友人、知人、教え子たちが多数参加し、先生の温厚篤実なお人柄にふさわしく盛会であった。



柔道祭

平成13年4月30日(月振休)、草薙体育館で第43回静岡県柔道祭が開かれた。

今年度の協会表彰者は、功労者

- 六段 佐野 始 村瀬芳孝
- 五段 正治 嘉 渡辺伊三徳

正田公孝

優秀団体賞として、第49回全国青年柔道大会 第三位に入賞した。育誠館道場(浜松)が表彰された。

引き続き、講道館柔道形の部の競演があり、四種目にわたり東海大会予選を兼ねて行われた。

(投の形)

東部 (取)三段 近藤将之 (三島柔道会)

(受)二段 山田智久(シ)

西部 (取)二段 根岸一也 (浜北柔協)

二段 小出浩雅(シ)

(柔の形)

東部 (取)三段 船田英美子 (聖明病院)

(受)三段 山本亜紀子 (シ)

中部 (取)六段 杉本昌司 (滝井道場)

(受)五段 落合伸美 (静岡刑務所)

西部 (取)六段 一瀬 誠 (浜北柔協)

(受)五段 竹内紀久夫 (シ)

(極の形)

東部 (取)六段 小笠原淳 (聖明病院)

(受)六段 金指邦浩 (富士市柔道会)

中部 (取)六段 渡辺和秀 (静岡刑務所)

(受)五段 山下正幸(シ)

(取)四段 白井恵子 (新居町体協)

(受)六段 白井康二(シ)

(古式の形)

中部 (取)七段 田中秀幸 (静岡大学)

(受)六段 熊谷幸洋 (滝井道場)

西部 (取)七段 西島温行 (福田柔ク)

(受)六段 磯部正博(シ)

審査の結果、最優秀賞に

投の形II根岸・小出組

柔の形II船田・山本組

極の形II渡辺・山下組

古式の形II田中・熊谷組

が選ばれ東海大会出場権を獲

得した。

試合の結果は次のとおり。

(小学の部)

1位 三島柔道会

2位 神土館

3位 藤枝柔道俱樂部

3位 静岡東部柔道クラブ

(中学の部)

1位 静岡学園中

2位 富士宮第二中

3位 新居中

3位 北浜中

(高校の部)

1位 静岡学園高

2位 沼津学園高

3位 日大三島高

3位 浜松商業高

(一般の部)

1位 総合警備保障静岡

2位 シ 浜松

3位 浜北市柔道協会

3位 滝井道場

《優秀選手》

川口佑樹(三島柔道会)

平井銀次(神土館)

(中学生)

増田龍二(静岡学園中)

平井雅人(富士宮二中)

(高校生)

植田佳徳(静岡学園高)

和田康宏(沼津学園高)

(一般)

花沢裕介(総合警備静岡)

瀧口耕介(シ 浜松)

(中学女子個人)

44kg級

1位 渡辺久美子(富士宮二中)

2位 萩原絵里(清水柔専塾)

3位 太田 優(北浜中)

3位 小川悠希(富士宮二中)

52kg級

1位 栗原真琴(富士宮二中)

2位 横山聡美(大井川中)

3位 室田美那(田代道場)

3位 内藤みゆき(錦田中)

63kg級

1位 杉山希美(藤枝柔俱)

2位 遠藤昌美(富士宮二中)

3位 伊藤澄香(福田柔ク)

4位 青山夏美(北浜中)

63kg超級

1位 高橋聡美(富士宮二中)

2位 松本笑嘉(福田柔ク)

3位 鈴木美穂(北浜中)

4位 富永茉美(北浜中)

県民スポーツ祭

第55回静岡県民スポーツ祭柔道競技は平成13年11月11日(日)、富士市勤労者体育館で開かれた。試合に先立って、協会表彰が行われた。

(優秀選手賞)

栗原真琴(富士宮第二中学校)

(第32回全国中学女子52kg優勝)

増田圭省(沼津学園高校)

(第50回全国高校男子100kg第二位)

増田佳徳(静岡学園高校)

(第50回全国高校男子73kg第三位)

増田哲平(沼津工業高専)

(第36回全国高専男子90kg第三位)

福長優司(神土館道場)

(第21回全国少年6年生第三位)

(優秀指導者賞)

渡辺智之(富士宮一中教諭)

(栗原真琴二年連続優勝監督)

以上、それぞれに賞状、記念品が授与された。

試合結果は次のとおり。

(成年の部・市対抗)

1位 富士市柔道会

2位 総合警備保障浜松

3位 富士宮柔道会

3位 総合警備保障静岡

(成年の部・町村対抗)

1位 伊豆長岡柔道会

速報

第24回全国高校選手権出場

男子個人無差別級

土屋彰裕 (浜松商高)

女子個人

48kg級 村松香澄 (庵原高)

52kg級 山下励佳 (池新田高)

57kg級 芹澤誠子 (藤枝南女高)

63kg級 永手ナオミ (磐田東高)

70kg級 梅原友佳 (東海大翔洋高)

78kg級 岡田紘味 (天竜林業高)

78kg超級 岡本礼子 ()

東海予選出場

1位 大村昌弘 (平成管財)

2位 大村恭一 (県警機動隊)

平成14年度全日本女子選手権

東海予選出場

1位 岩藤理恵 (三井住友海上火災)

2位 漆畑加奈子 (総合警備保障)

3位 舛田拓美 (静岡大学)

4位 山田幸枝 (県総合管理公社)

訃報

平成13年度、わが協会はかけがえのない、五人の役員を喪い、お訣れをしなければなりませんでした。ここに改めて、故人の残された業績を偲び、ご冥福を衷心よりお祈り申し上げる次第です。

(東部地区)

地区参与五段 近藤正道様

H13 逝去

地区参与三段 関 孝雄様

H13・5・29日逝去

理事 七段 金子 尚史様

H13・5・16日逝去

第一審議員七段村田完治様

H13・5・3日逝去

地区顧問七段 深山栄一様

H13・6・9日逝去



金子七段

県警の選手として、関東警察大会や全国大会に出場活躍。又、東部柔道場連盟会長として地域の柔道振興に貢献した。



村田七段

周智高校を初めとして、田方農高に至るまで、一貫して高校柔道の指導者として情熱を注ぎ、高体連役員としても尽力・選手として全国教員大会にも出場活躍した。



深山七段

小兵ながら、寝技の名選手として、特にその絞技の威力を以て勇名を馳せ、全国高段者大会30回出場を果たしている。

2位 大東町柔道クラブ

3位 清水町柔道会

3位 長泉柔道会

(少年A男子市対抗)

1位 静岡学園高

2位 沼津学園高

3位 藤枝明誠高

3位 東海大翔洋高(清水市)

(少年A男子町村対抗)

1位 大井川高

2位 気賀高(細江町)

3位 池新田高(浜岡町)

3位 小山高

(少年A女子市対抗)

1位 天竜林業高

2位 東海大翔洋高(清水市)

3位 湖西高

(少年A女子町村対抗)

1位 庵原高(蒲原町)

2位 葦山高

3位 大井川高

(少年B男子市対抗)

1位 静岡学園中

2位 原中(沼津市)

3位 浜名中(浜北市)

3位 高草柔道クラブ(焼津市)

(少年B男子町村対抗)

1位 新居中

2位 葦山中

3位 大井川中

3位 福田中

(少年B女子市対抗)

1位 富士宮二一中

2位 藤枝柔道倶楽部

3位 高山柔道塾(浜松市)

3位 三島柔道会

(少年B女子町村対抗)

1位 福田柔道クラブ

2位 新居中

3位 大仁中

3位 清水中

(少年C市対抗)

1位 静岡東部柔道クラブ

2位 三島柔道会

3位 田代道場(沼津市)

3位 養神館(浜松市)

(少年C町村対抗)

1位 葦山町柔道教室

2位 豊田柔道クラブ

3位 大東町柔道クラブ

3位 伊豆長岡柔道会

総合得点では、

(市対抗)

1位 静岡市

2位 沼津市

3位 浜松市

4位 富士宮市

(町村対抗)

1位 大井川町

2位 葦山町

3位 清水町

4位 伊豆長岡町

6点

7点

8点

10点

6点

7点

8点

10点

紹介 フレッシュわれらが柔道(その1)

とろろ汁いただき元気いっぱい

山芋杯 柔道大会

平成13年12月26日(日)静岡市の長田西中学校柔道場において、第20回「山芋杯柔道大会」が行われた。

この大会を主催するのは、長田西中柔道部父母の会で、参加した中学生選手達に名物の「とろろ汁」をご馳走してくれるユニークな大会ということ人気を集めている。

梅若葉鞠子の宿のとろろ汁という芭蕉の名句で知られている丸子の里は、滝井道場や養正館などを拠点に柔道が盛んな地でもあり、長田西中柔道部は、知る人ぞ知る県下中学柔道の名門。県下優勝はもちろん、幾多の名選手を輩出している。

ことのきっかけは、練習試合を近隣の柔道部に呼びかけ、寒さに負けずにがんばる中学生たちに、父母のみなさんがとろろ汁をふるまってくれたところ、大好評。回を重ねていくうちに、輪を広げ、今では、東は沼津や富士宮、西は愛知県の岩倉からも参加する盛大な大会となっている。

何百人もの子どもたちにとろろを食べさせるには、大変なご苦労があるはず。しかし、会長



の丸目さんは、「山芋は、厳しい大地に根を張ってねばり強く生きる。そのエネルギーを選手達にぜひ吸収してもらいたい。」とご機嫌で語ってくれた。

顧問の立花和也先生の話では、大会運営も、中学の先生たちばかりではなく、大勢の地元有段者が心よく審判を買ってでてくれ、なごやかに進行できたという。この地に根をおろして、半世紀。コーチを続けている黒

柳忠義さんの「中学柔道」への熱き想いがひしひしと伝わってくるすばらしい大会である。試合結果は次のとおり。

(男子団体)

(準決勝)

大井川中△1-5○沼津原中

愛知岩倉中△3-3○長田西中

(決勝) (代表戦)

沼津原中○4-0△長田西中

(女子団体)

(準決勝)

常葉橋中 ○2-1△服織中

愛知岩倉中○1-1△賤機中

(決勝) (内容)

常葉橋中 ○1-1△岩倉中

(代表戦)

《速報》

平成14年2月3日(日)静岡北校柔道選手権静岡大会が行われ、男子団体の部で東海大翔洋高が優勝、全国大会への切符を掌中にした。

- 1位 東海大翔洋高
- 2位 浜松商業高
- 3位 沼津学園高
- 4位 日大三島高